

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式					
AA41G021		データサイエンス入門 (Introduction to Data Science)					基礎教育科目 導入・転換		オンライン(オンデマ ンド型)					
必修選択		単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語		その他に使用する言語		担当形態			
必修		1	1・2・3・4	医学部看護学 科	前期	水7	日本語				複数(共同)、オムニバス			
担当 教 員	氏名 甘利弘樹(基盤教育センター長), 高見利也(数理データサイエンス専門部会長)													
	E-mail dsintro@oita-u.ac.jp 内線													
授 業 の 概 要	これからのデジタル社会において, 数理・データサイエンス・AIを日常生活, 仕事等の場で使いこなすことが要求される。この科目ではそのための基礎的素養を学ぶ。さ らに, 学修した数理・データサイエンス・AIに関する知識・技能を扱う際に, これらを説明し, 適切に活用できるようになることをめざす。													
具体的な到達目標														
DP等の対応(別表参照)								1	2	3	4	5	6	7
目標1	データ・AIによって, 社会および日常生活が大きく変化していることを説明できる。							○				○		
目標2	データ・AI活用領域の広がりを理解し, データ・AIを活用する価値を説明できる。							○				○		
目標3	データの特徴を読み解き, 起きている事象の背景や意味合いを説明できる。							○						
目標4	適切なデータ可視化手法を選択できる。									○				
目標5	データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理について説明できる。										○			
目標6	個人のデータを守るために留意すべき事項を説明できる。										○			
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度(計10)								4		2	2	2		
授業の内容														
1	社会におけるデータ・AI利活用		データサイエンスとは/社会で起きている変化 (教育:市原, 中原, 杉山)(医:安徳)											
2	社会におけるデータ・AI利活用		データ・AI利活用の現場/データ・AI利活用の最新動向 (経済:小野(宏))(教育:市原, 中原, 杉山)											
3	社会におけるデータ・AI利活用		大分大学教員における研究事例紹介/社会で活用されているデータ(経済:小野(宏))											
4	社会におけるデータ・AI利活用		データ・AIの活用領域/データ・AI利活用のための技術 (理工:高見, 畑中)											
5	データリテラシー		データを読む (医:谷川, 岩城)(保健:中里)											
6	データリテラシー		データを説明する/データを扱う (理工:渡辺 樹)											
7	データ・AI利活用における留意事項		データ・AIを扱う上での留意事項 (理工:江崎 翔太)											
8	データ・AI利活用における留意事項		データを守る上での留意事項とまとめ (教育:市原, 中原, 杉山)(基盤セ:未定)											
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
ラ イ ク ニ ン グ ブ	A:知識の定着・確認		○	演習課題への取り組み				工 夫 其 他 の	LMS(Moodle)の活用					
	B:意見の表現・交換													
	C:応用志向													
	D:知識の活用・創造													
授 業 時 間 外 学 修 の 内 容 と 想 定 時 間	準備学修		参考書等を事前に読んでおく。(7h)											
	事後学修		講義資料や参考書等を用いて復習する。演習課題に取り組む。(15h)											
	想定時間合計		23											
教科書		教科書は指定しない。												
参考書		北川源四郎, 竹村彰通 編『教養としてのデータサイエンス』講談社, 2021年 上藤一郎 著『絵と図でわかるデータサイエンス』技術評論社, 2021年												

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10
	「社会におけるデータ・AI活用」についての演習課題	50%	○	○								
	「データリテラシー」についての演習課題	25%			○	○						
	「データ・AI活用における留意事項」についての演習課題	25%					○	○				
小テスト及びまとめテストの点数が満点の 60%以上になると単位修得条件を満たします。												
注意事項	オンデマンド型オンライン授業として実施する。 学修スケジュールをMoodleに掲載するので、必ず確認すること。											
備考	オムニバス形式の授業である。なお、本科目は、数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル）の政府認定を受けた「データサイエンス基礎教育プログラム」の必修科目である。											
リンク												
	URL											